Course number	U-LAS05 20035 LJ31		
Course title (and course title in English)	東南アジアの政治 Politics in Southeast Asia	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Center for Southeast Asian Studies Professor,OKAMOTO MASAAKI

Group	Humanities and Social Sciences	Field(Classification)	Regions and Cultures(Issues)

Language of instruction	Japanese	Old group	Group A	Number of credits	2

Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester

Days and periods	Wed.1	Target year	All students	Eligible students	For all majors

[Overview and purpose of the course]

中国が政治経済的に台頭する中で、東南アジアはこれまで以上に日本にとって重要なパートナーとなりつつある。東南アジアは、経済的には中国、インドと並んで比較的高い経済成長を続ける一方、政治的には、民主化の後退とも思える現象も起きている。インドネシアでは1998年に民主化が始まり、ミャンマーでもついに民主化が始まり、マレーシアでは2018年、独立以来、初めて政権交代が起きた。しかし、タイでは2014年にクーデターが起こり軍政に逆戻りし、絶対王政化の兆しもある。フィリピンでは、治安のために民主主義を否定しかねない人物が2016年に大統領に就任した。カンボジアでもシンガポールでも一党支配体制は堅固である。それでは、こうした東南アジアの政治をどう考えれば良いのであろうか。冷戦下のインドネシアやカンボジアの大虐殺をどう考えれば良いのであろうか。経済成長と民主主義は両立しないのであろうか。宗教や民族アイデンティティは政治にどのようなインパクトを与えているのであろうか。また、日本は今後、東南アジア諸国とどういった関係を取り結んでいけばいいのであろうか。こうした点について、本授業では皆と考えていきたい。

[Course objectives]

東南アジア諸国の特徴を一般的に理解したうえで、東南アジア諸国に見られる権威主義体制、社会主義体制、民主主義体制の歴史的変遷を理解する。そして、各国の政治の抱える課題とその対処法を学ぶ。

[Course schedule and contents)]

次のような流れで講義を進めていく。ただし、進行具合により変更の可能性がある。
１．東南アジア政治の可能性
２．東南アジア国家の歴史的変遷
３．東南アジアにおける国家と暴力（１）：概論
４．東南アジアにおける国家と暴力（２）：インドネシアの事例
５．東南アジアにおける国家と暴力（３）：カンボジアの事例
６．インドネシアの政治：イスラームと民主主義の両立？
７．マレーシアの政治：一党支配体制の破綻
８．フィリピンの政治：非民主的大統領の民主的誕生
９．ミャンマーの政治：アウン・サン・スーチーと民主化
１０．タイの政治：軍政から絶対王政へ？
１１．カンボジアの政治：ポル・ポト後の強権支配
１２．ベトナムの政治：市場経済と一党独裁の両立・非両立
１３．東南アジアでのマイノリティの政治：LGBTの政治

Continue to 東南アジアの政治(2)↓↓↓

東南アジアの政治(2)

１４．東南アジアと日本

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

第５回時のエッセイ（20点）と定期試験（80点）で評価します。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）
片山裕・大西裕編 『アジアの政治経済・入門（新版）』（有斐閣）ISBN:978-4-641-18386-5
山本信人編著 『東南アジア地域研究入門3政治』（慶應義塾大学出版会）
白石隆 『海洋アジアvs.大陸アジア:日本の国家戦略を考える』（ミネルヴァ書房）ISBN:978-4623075713
川中豪・川村晃一編著 『教養の東南アジア政治史（仮題）』（ミネルヴァ書房）

[Study outside of class (preparation and review)]

授業中に紹介する参考文献を使いながら復習をしてください。

[Other information (office hours, etc.)]

毎授業ごとに感想を書いてもらい、出席代わりとします。ただし、評価は第５回目のエッセイと試験です。面談希望者は、okamoto(at)cseas.kyoto-u.ac.jp**に連絡をしてください。**(at)**を@に変えてください）。**